

IFTA UPDATE

国際テクニカルアナリスト連盟会員のための情報誌

2009年 第16巻 第1号

目次

会員の皆様への会長レポート.....	1
IFTA会員協会ニュース.....	3
国際検定テクニカルアナリスト (MFTA) プログラム.....	9
祝 CFTeの新合格者.....	10
検定テクニカルアナリスト (CFTe) プログラム.....	10
IFTA会員協会.....	11
2009年理事会.....	11
2009年度版 IFTA Update 料金表...	12
IFTAジャーナル投稿のお願い.....	13
2010年度版IFTAジャーナル料金表...	15

IFTA UPDATEの次号：2009年3月

原稿締切：3月1日

原稿の宛先:

Linda Bernetich@admin@ifta.org

『IFTA UPDATE』に掲載すれば、世界中の7,000人以上のIFTA会員にメッセージを届けることができます。詳細は、www.ifta.org/publications/newsletter 及び13頁をご覧ください。

IFTA Updateは、1986年に法人登記された非営利の職能団体、国際テクニカルアナリスト連盟 (www.ifta.org) の刊行物です。

本部

International Federation of Technical Analysts
9707 Key West Avenue, Suite 100
Rockville, MD 20850, U.S.A.
Eメール: admin@ifta.org

会員の皆様への会長レポート

2008年は、市場に重大な変化が生じた年としてほとんどの関係者の記憶に刻まれることになるでしょう。私もテクニカルアナリストは、市場のサイクル、投資家の行動、市況変化の力学を研究しますが、すべての参加者が試された相場でした。とはいえ、こうした流れを理解して舵取りをする備えが最もよくできていたのは、テクニカルアナリストです。不況にもかかわらず、投資の世界で優れたパフォーマンスを維持している戦略が2種類あります。1つがGlobal Macro、もう1つがDedicated Short Biasです。これはCredit Suisse-Tremont Hedge Indexによっても確認されています。CTA戦略を包含するGlobal Macroは、主にルールに基づく投資・トレードのテクニカル戦略です。

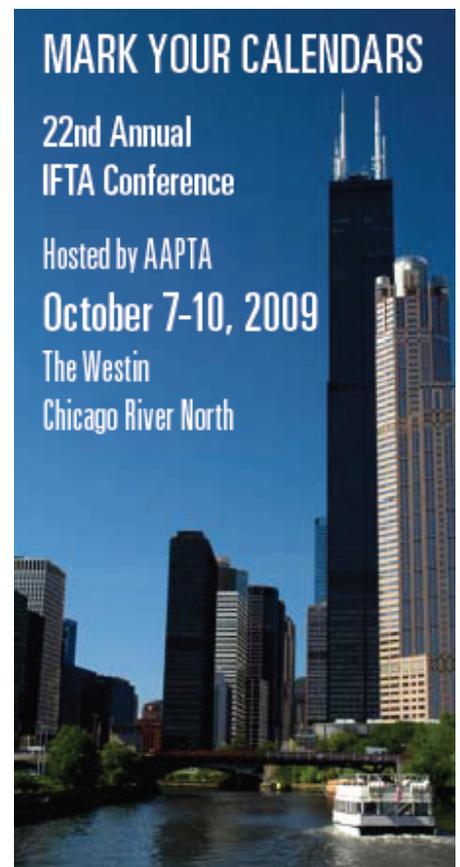
www.hedgeindex.com/hedgeindex/en/default.aspx?cy=USD

こうした流れとその背後にある理由が、パリで行われた素晴らしい2008年IFTA会議(AFATE主催)の主要テーマの1つでした。私は「素晴らしい」という語を安易に使いませんが、確かに素晴らしい大会でした。パリという都市の素晴らしさ、忘れ難い食事と景色、プライベート・ツアーやルーブルでのディナー(啞然とさせられました)だけではありません。経済のきわめて重要な局面で世界中の会員と交流して示唆に富む話を聴くことができる、またとない貴重な機会となったからです。

主催協会の計らいで、パリ会議に出席できなかった方々にも会議の様子や内容がわかるように資料が用意されています。プレゼンテーションは以下のURLでご覧いただけます。

www.ifta2008.com/post_conference

2008年IFTA会議は終わりましたが、フランス協会がIFTAの全会員のために非常に貴重で有益な資料を提供してくれています。



MARK YOUR CALENDARS
22nd Annual
IFTA Conference
Hosted by AAPT
October 7-10, 2009
The Westin
Chicago River North

会議の様子と内容を伝える資料をダウンロードして各自のTAライブラリに加えることをお勧めします。会議実行委員長のジュリアン・ネベンツァール、クロード・マターン、ティエリ・ベシュ、ヴァレリー・ガスタルディをはじめとするフランス協会の皆様に感謝申し上げます。

2009年IFTA会議が米国プロフェッショナル・テクニカルアナリスト協会(AAPTA)の主催で行われることが正式に決定しました。2009年10月7～10日、場所は誰にも好まれる町、米国イリノイ州シカゴにあるウェスティン シカゴ リバー ノース ホ



ビル・シャープとIFTAの「トーキングスティック」



ルーブル美術館



ティエリ・ベシュとアダム・ソラブ



「ウォークアバウト」

テルです。2009年会議実行委員長は、リンダ・ラシュキが務めます。AAPTAメンバーの協力を仰ぎつつ、誰もがカレンダーに大きな を付けたくなる会議を準備致します。リンダが書いているように、「...(TAは)ほとんどの人が今初めて経験している大きなデフレにおいても時の試練に耐え続けることのできる伝統的な手法です」。

2009年IFTA会議の詳細はまもなく渉外担当者に連絡されます。



各協会からの出席者が参加したルーブル美術館ツアー

IFTA 会員協会ニュース - IFTA 年次総会での報告

AATI(インドネシア)

インドネシア・テクニカルアナリスト協会

2008年、インドネシア・テクニカルアナリスト協会は、金融市場におけるテクニカル分析の有用性を宣伝し続けてきました。

インドネシアは地理的に広い国です。投資家のTAに対する需要が増しつつある近年、ジャカルタ以外の都市にTAを普及させることが非常に重要です。当協会では戦略的アプローチの一環として、投資にテクニカル分析を応用していただくよう、年金ファンド、保険、ファンドマネージャなどの機関投資家への働きかけを強化しました。当協会では、特に今の金融市場情勢の見通しについて、何度かプレゼンテーションを行いました。また、ジャカルタでTAの研修と定例集会を行うことにしました。

最近の市場の混乱により、TAはより注目されるようになってきました。インドネシアの主要な経済紙や電子メディアのほとんどが、テクニカルな市況の見通しを定期的に伝えています。

他方、会員を増やす方法として、インドネシア中の人々に働きかけることができるようにメーリングリスト(Milis-AATI@yahoo.com)を今でも使っています。リストのメンバーがAATI会員になってくださるようお願いしております。

当協会が抱えている問題は、アナリストのほとんどが独学者である一方、テクニカルアナリストの資格が疑問視されていることです。そこで私どもは、協会としてテクニカル分析の標準化を急いでおります。

そうした努力の一環として、今年は6名の会員が初めてCFTEレベルIを受験する予定です。CFTE試験はジャカルタで行われました(2008年11月5日)。これを皮切りに、会員のTA資格取得が進むことを期待しております。

今後数年の重要課題は、やはりAATIの標準化とAATI会員の増強です。加えて、インドネシアで全国のおよび国際的なTAイベントを開催したいと考えております。私どもの活動に国際的なテクニカルアナリストを招待する計画です。

当協会では2010年IFTA会議をインドネシアのバリで開催させていただく希望を持っておりますことを、この場をお借りしてご報告致します。IFTA理事会でご検討いただけましたら幸いに存じます。当協会では会議主催の要件を満たすことができると考えております。

ESTA(エジプト)

エジプト・テクニカルアナリスト協会

エジプト・テクニカルアナリスト協会(ESTA)は、中東で最初のテクニカル分析のNPOとして2000年の初めに発足しました。当時はアムル・ダボスがESTA会長でした。

後に、サレハ・ナセルが教育普及委員会の長としてESTAに加入し、アイマン・ウェイクトがESTA会長となり、ESTA理事会は、サレハ・ナセル、モハメド・クオトブ、モハブ・ナビル、ヘイゼン・カメルで構成されました。後に、デーニア・カダとモハメド・エル・ツァイアトが加入しました。当時、ESTAには下記の4つの委員会しかありませんでした。

- 教育普及委員会(委員長:サレハ・ナセル)
- 加盟委員会(委員長:モハメド・エル・ツァイアト)
- メディア委員会(委員長:ヘイゼン・カメル)
- ウェブサイト委員会(委員長:モハメド・エル・サイド)

2008年の初旬に、新理事会メンバーを選任するために選挙総会が開かれました。新理事会には、創設メンバーであるモハメド・エル・ツァイアト、デーニア・カダに加えて、著名なメンバー、テイマー・ガマルとハテム・アル・バナの2名が選ばれました。新理事会は満場一致でサレハ・ナセルをESTA会長に選びました。

ESTAの実績

- 1 エジプトにテクニカル分析を大いにかつ効果的に普及させ、アラブ・エジプトの企業の中にテクニカルアナリストとしての職業の需要を創り出した。
- 2 世界で最大級の協会となり、エジプトと諸外国において大いに信頼を得た。
- 3 発足後8年間で、会員数が当初の7名から750名以上に増えた。
- 4 カリム・シャラビー社長が率いるTrend Companyがエジプト最大の会議場で行ったTrendコースの講演会には、1000名が出席した。
- 5 エジプト・テクニカルアナリスト協会が提供しているコースが世界

IFTA 会員協会ニュース(続き)

で最大級のコースとなった。

6 株式市場のセミナーや例年の展示会(カイロの国際会議センターにて)への参加。

7 ESTA の努力と信用により、国際テクニカルアナリスト連盟年次会議の中東で最初の主催国となった(2007年、シャルム・エル・シェイクにて)。

8 ESTA はクウェート・テクニカルアナリスト協会やヨルダン・テクニカルアナリスト協会など、他のアラブ諸協会の創設に貢献した。現在はサウジ・テクニカルアナリスト協会の創設を支援している。

9 アレキサンドリアに ESTA 新支部を開設。ここでは専門コースを提供している。

10 テクニカル分析を科学として認知させることに成功し、「アラブ科学技術アカデミー」との間で契約を結び、テクニカル分析を投資・ファイナンスの MBA コースにおける科学の科目として組み込むことになった。コースでは、ESTA 教育普及委員会のメンバーが実際に教えている。

11 政治経済学部 of 科目にテクニカル分析が初めて導入された。

12 アラブ銀行組合の会議でテクニカル分析のセミナーを提供する契約の締結に成功した。

13 ESTA が提供する教育・職業研修コースの成果として、新メンバーが教育普及委員会に加わり、協会の教育普及活動に参加する資格を得た。

14 ESTA の働きかけが功奏し、「アラブ科学技術アカデミー」がテクニ

カル分析の修士号を採用した。

15 「Trend 1 コース」の上級として「Trend 2 コース」を開始した。対象は、Trend 1 コースに合格したものの、(上位 40 名の成績優秀者に与えられる)ESTA 専門職プログラムへの参加資格が得られなかった受験者。より多くの方々に協会の教育普及活動の恩恵に与かっていただくことが狙い。

16 アレキサンドリア、アシュート、マンソウラなど、エジプトのさまざまな都市で教育普及活動の拡大に取り組んでいる。そのため、教育普及委員会のメンバーを拡充している。

17 ESTA はテクニカル分析の分野における会員の研究を支援し、研究のフォローアップも行っている。また、参考資料を提供しているほか、内外での出版活動も支援する予定である。

18 ESTA は国内機関紙の刊行に取り組んでいる。協会とその働きを明らかにし、テクニカル分析の学習に関心を持つ人々に向けて記事を発表することを狙いとする取り組みの第一歩である。ESTA 会員には機関紙に投稿する機会が与えられ、掲載料は無料である。

19 会員に多数のサービスを提供し、会員同士のコミュニケーションとアイデアの交換を促すためにウェブサイトの開発に着手し、完成した。

20 ウェブサイトを通じて、会員に内外での雇用機会を提供している。

21 テクニカル分析に関心のある専門のメディアチャンネルと連絡を保ち、ESTA で教育を受けたメンバーを送り込み、テクニカル分析のコミ

ュニティを代表してエジプトの新聞、テレビ、ラジオでさせている。

22 会員が知識を増すことができるように、独自の図書館を整備し、国際検定(CFTE)関連の書籍を中心に海外からの専門書を増やした。

成功後に最も重要でしかも困難なことは、その状態を維持することです。そこで、協会の意欲的な目標を達成し、レベルをさらに高めるために、計 29 名から成る 11 の委員会を定めました。これらの委員会を通じて、協会のさまざまな働きを推進します。(委員会は、教育普及、倫理、加入、渉外、国際通信、出版、インターンシップ、メディア、マーケティング、リサーチ、IT の計 11。)

KTAA(クウェート)

クウェート・テクニカル分析協会

2008年の11月が来ました。これは、当協会が3本目のろうそくに火を灯したことを意味します。過去2年間、協会は比較的順調に発展してきました。CFTE試験を初めてクウェートで実施した2007年11月から、2008年4月、2008年11月と、3回目に至りました。25名の会員のうち、4名がCFTEレベルIを終え、レベルIIの受験資格を得ています。レベルIIをすでに受験した会員が1名おりますが、残念ながら合格できませんでしたが(次回に期待しています)。2007年の10名から2008年には25名に増えましたので、年間の増加率は150%となりました。しかし、クウェートにはさらに大きな可能性があることは間違いありません。ほんものの知識を持っているかどうかで市場参加者のパフォーマンスに大きな差が出る現在の市況においては、テクニカル分析への需要はいつそう増えることが期待できます。

IFTA 会員協会ニュース(続き)

当協会の状況をご理解いただくために、少し過去の経緯を紹介させていただきます。2006年10月にIFTAの承認を受けて以来、当協会はクウェート経済協会にアプローチし、スポンサーになっていただくことができました。そういうわけで、協会はクウェートで正式な立場を得ましたが、KTAAの会員になるためにはクウェート経済協会に登録しなければなりません。「KTAA」としての私どもは、クウェート経済協会の会員に割引料金でTAコースを提供しました。ところが、しばらくしてクウェート経済協会はスポンサーを降りると通告してきました。そのため、現在は正式な立場を失っています。会費などの徴収を行わなかったのをご承知のことと思います。また、試験を円滑に実施するために、クウェートでの受験希望者は全員KTAAの会員として認めることに致しております。

最後に、ナザール・マクシード氏をクウェート・テクニカル分析協会の新会長としてご紹介致します。マクシード氏は協会創設者の一人で、クウェートでのTA普及に情熱を燃やしています。また、次回シカゴで行われるIFTA会議では、クウェートの代表として皆様にお目にかかりたく願っております。IFTA会議は、テクニカル分析の分野の著名人に会うことができる素晴らしい機会です。TAについての相談事がございましたら、KTAAの一員としていつでもお手伝いさせていただきます。どなたでもお気軽にお訊ねください。

SAMT(スイス)

スイス・テクニカルアナリスト協会

SAMTの会員数は現在125名です。2008年、SAMTでは外国からの講師を2名(イアン・マカピティとジョン・パーソン)招聘しました。会議はジュネーブ、ルガーノ、チューリッヒで行わ

れました。

アルベルト・ビバンティはCentro di Studi Bancari (CSB)で行われているテクニカル分析の教育プログラムへの関わりを続けてきました。CSB理事長のチョッパード教授のスタッフと密接に協力しています。CSBのコースでIFTAの試験を受ける学習者に受験対策を指南する働きは2002年にブルーノ・エスティアが始めたもので、今年では7年目となりました。2008年は、CSBのコースから10名がレベルIを、6名がレベルIIを受験しました。

ダニエル・スティルハートがSAMTの新会長に選出されました。財務はレイ・グロジャン、副会長はイレーン・クヌース(チューリッヒ担当)、アルベルト・ビバンティ(ルガーノ担当)、ブルーノ・エスティア(ジュネーブ担当)の3名、ウェブマスターはティモシー・ストレイトン。以上がSAMTの新しい理事会です。IFTAとの連絡はブルーノ・エスティアが担当します。

2008年、SAMTに関するニュースとSAMT会員による記事が再びSwiss Futures and Options Association (SFOA)の『スイス・デリバティブ・レビュー(SDR)』に掲載されました。『SDRレビュー』はSAMT会員全員に配信されています。『IFTA Updates』は引き続き四半期ごとに全会員にメールで配信されますが、『IFTAジャーナル』は印刷版が郵送されます。

SAMTの次の外国講師はイアン・マカピティで、日程は2月、場所はチューリッヒの予定です。

SSTA(サウジアラビア)

サウジ・テクニカルアナリスト協会

サウジ・テクニカルアナリスト協会の理事会は、8か月前に協会設立と

IFTA加盟に向けて第一歩を踏み出しました。創設理事による第一回会合は、2008年2月22日、サウジアラビアのリヤドで、協会創設者で理事長のアブドルアジーズ・ビン・アブドラフマン・アアル・サウド博士殿下(H.R.H. Prince Dr. Abdulaziz Bin Abdulrahman Aal Saud)を議長として行われました。

さまざまな方面で必死の取り組みが始まりました。まず、各専門委員会を通じて目標と手続きが設定されました。世界中のテクニカルアナリスト協会との協力が協会の最優先課題でした。この協力関係が始まったのは、SSTAがヨルダン・テクニカルアナリスト協会(JTAS)と協同でテクニカルアナリストを対象とする10日間の研修プログラムを実施した時のことです。研修の内容は、リヤドで行われるIFTA CFTe Iの受験指導でした。プログラムの講師を務めたのは、JTASのアサド・ハムザ会長。研修者の卒業パーティーが2008年3月30日に行われ、サウジ・テクニカルアナリスト協会の創設者で理事長のアブドルアジーズ・ビン・アブドラフマン・アアル・サウド博士殿下が臨席しました。

また、研修を継続するためにテクニカル分析に関するレクチャーやセミナーが数回行われました。協会メンバーを対象に、多数のエキスパートを招聘して、レクチャーやセミナーを実施しました。また、2008年4月28日には、STA会長のアダム・ソラブ氏を講師に迎えてテクニカル分析のセミナーを行いました。セミナーには、SSTA理事長のアブドルアジーズ・ビン・アブドラフマン・アアル・サウド博士殿下と協会メンバーが出席しました。協会の活動をサウジのテクニカルアナリストと投資家の間にテクニカル分析の文化を育てるための大きなステップとして見ているサウジのマスコミは、このイベントを取り上げました。

この取り組みの継続として、また、

IFTA 会員協会ニュース(続き)

世界中の金融市場を襲った金融危機を受けて、SSTAは再びアダム・ソラブ氏を招いてセミナーを行いました。セミナーの内容は、テクニカル分析の現状についてでした。2度目のセミナーが行われたのは2008年10月14日で、SSTA理事長のアブドルアジーズ・ビン・アブドラフマン・アアル・サウド博士殿下と協会メンバーが出席しました。

IFTAによる認定を受けた後に、SSTAのウェブサイトが開設されました。協会の目標や希望にかなったウェブサイトとするために現在作業中です。SSTAの公式ウェブサイトは、<http://saudi-sta.org> です。

設立の手続きが終わり、関係省庁による協会本部開設の取り決めがなされた後に、加入委員会は加入受付票の作成に取り掛かりました。これは、SSTAの法律顧問が直ちに行うべき仕事です。

CFTeの受験者については、機会を逸することがないようにJTASに臨時的加入登録がなされています。これらの受験者は全員が、SSTAの手続き、施設、管理体制が整いしだい、直ちにSSTAに移籍することを希望しています。これは近々宣言される予定です。MTAのCMTを受験したメンバーもいます。最後に、11月のIFTAパリ会議・年次総会でSSTAの対外関係担当理事で創設者の一人であるサレハ・アルムルヘムが協会を代表し、会長代理として出席できることを感謝しております。

STA(英国)

テクニカルアナリスト協会

STAには16名を上限とする理事会があり、理事会には会長、副会長、財務担当理事、書記の職があります。本部はロンドン市外に設置されています。理事会は年に11回会合し、小委員会は

個別に随時会合します。STAの現会長はデボラ・オーウェンで、2008年7月にアダム・ソラブの後任として就任しました。

現在850名を超える会員は、次の3種類に分かれています。評議員 (Fellows of the Society) は理事会によって選出され、TA全般、当協会、または(最も多いケースとして)両方に重要な貢献をしたとみなされる約20名の会員で構成されます。

協会会員 (MSTA: Members of the Society) は、STA ディプロマの保有者であるか、または同等の知識と経験を有するとみなされる者(ただし後者は例外的)です。協賛会員は、TAに関心を持つが、ディプロマも豊富な経験も有さない者です。選挙権はありません。また、正会員の250名以上がCFTeの称号を持っています。

活動

1 教育普及 コースの提供期間を3年間に延長しました。基礎課程は、TAの知識が皆無かそれに近い受講生が対象です。ディプロマ・コースは年2回行われています(春に通常コース、秋に集中コース)。今回の延長により、(CFTe Iを省略して)STAディプロマ試験とIFTAのCFTe IIの受験対策に直行することが容易になります。コースは引き続き盛況で、多くの学習者が基礎課程からSTAディプロマに移行しています。STA/CFTe II 試験は年2回(4月と秋)実施されています。

また、STAは現在、IFTAとの契約に基づいてCFTe I と CFTe II の問題作成・採点を行っています。STA教育普及委員会は、教育担当役員のジョン・カメロンが委員長を、ジョージ・マククリーンが副委員長を務めています。

2 会報 当協会は『マーケット・テ

クニシャン』誌を年に3回発行しています。TA、ソフトウェア、マーケットに関する記事、ニュース、書評が掲載された機関紙です。編集担当者はデボラ・オーウェンです。

3 会議 会員の種類に関係なく、またビジターも出席できる開かれた会議です。8月を除き毎月一度開催されています。通常は、講師(会員以外の場合もある)を一人招聘し、約45分ほど話をしてもらいます。講演に続いて質疑応答の時間があります。その後は、会場と同じ場所にあるバーで会員同士が語り合うことができます。

7月と12月の会議は、普段と異なる形式で行います。通常は評議員または特に有名なアナリストが普段よりも短い講演を行い、続いて軽食と飲み物が出ます。夏と冬に行われるこの「パーティー」は、TAに関心を持つ企業が主催する場合もあります。

STA プログラムのコーディネータは、マーク・テニソン・デインコートとアクセル・ルドルフです。

金融機関で働いている会員のための「ランチタイム・シティー」ミーティングと「ソーシャル・イブニング」も随時行われ、いずれかの銀行が主催する場合もあります。スコットランドにある別のSTA支部も、回数は少ないですが会議を開いています。

4 ウェブサイト: www.sta-uk.org

当協会のあらゆる活動、役員と理事会、現行の教育プログラム、会議について、詳細にわたる情報が提供されています。サイトには、リアルタイム・チャートもあります。そのほかに、「会員限定」のセクションには会報の最新版とバックナンバーのPDFファイルがあり、求人広告、

IFTA会員協会ニュース(続き)

その他の有用なコンテンツが掲載されています。ウェブサイト管理者はデヴィッド・ワッツです。

5 図書館 ロンドンのバービカン図書館にある当協会のライブラリには、非常に豊富な資料が用意されています。会員はバービカン図書館に立ち寄って書籍の貸し出しサービスを受けたり、または書面でリクエストを送り、必要な書籍を郵送してもらうこともできます。返却期日は図書館が指示します。寄贈されたTA書籍や当協会自身の歴史あるコレクションのほかに、新刊の書籍、ビデオ、その他の電子コンテンツを積極的に収集するプログラムも実施しています。ライブラリ責任者はマイケル・フィーニーです。

STAF(北欧)

北欧テクニカルアナリスト協会

北欧協会(STAF)の2009年の重点課題は、会員の平均的な知識水準を保ったままで、会員数を90名から110名に増やすことです。

職能協会が生き残るには、会員の技能と知識に対する要求水準を保つことが不可欠であると信じています。プロ以外の加入希望者がSTAFの会員になるためには、協会のTAディプロマを取得することが求められています。当協会では、ウプサラ大学の学生に「アルゴリズムに基づくトレードとリスク管理」のコースを提供し続けています。2008年は、会員を対象に以下のセミナーを実施してきました。

1月29日

ウォークアバウト、ルールに基づくトレード、アルゴリズムの活用 あなたの選択は?

2月26日

トム・マクレラン、「市場の呼吸」、『マクレラン・マーケット・レポート』

3月31日

デヴィッド・アロンソン、「証拠に基づくテクニカル分析」、バルーク大学

4月29日

ローニ・ウィリアムズ、「日本の口ウソク足」、Bloomberg.com

6月10~12日

ウィリアム・E・シャープ博士、エマニュエル・ダーマン博士、エスペン・ゴルデル・ハウク博士とデニス・ハバード、OMX Derivatives Week

9月2日

イーサン・アシュラフィ、「マーケット・メイキング」、個人トレーダー

9月30日

マーチン・シーゲートとマイケル・ミュラー、「Aikidoトレーディング」、Landesbank Baden-Württembergとmuellerfinacial GmbH

10月28日

スティーグ・ウラウソン、アンドリュース・ピッチフォーク、個人トレーダー

11月25日

ハカン・バーズィング、「W. D. ギャン」、個人トレーダー

STAFではIFTA年次会議の主催国として立候補するために手段を講じてきましたが、昨年、OMX北欧証券取引所とナスダックが合併したため、STAFがIFTA年次会議の主催国として立候補できるのは、近い将来に限定されました。準備が整いましたら、正式に立候補を申請させていただきたく願っております。

パリでの年次総会からの追加報告

AFATE(フランス)

フランス・テクニカルアナリスト協会

ジュリアン・ネベンツァール氏より、2008(原文は200)年に再び利益を得たこと、ウェブサイトを新しくしたことが報告されました。パリの金融界の中では、AFATEには教育重視という特

徴があります。AFATEには現在CFTesが36名います。2008年には、プロの会員数が増える見込みです。

VTAD(ドイツ)

ドイツ・テクニカルアナリスト協会

ウルフ・サンドバーク氏より、会員数が増えているとの報告がありました。VTADでは毎年春に会議を開催しています。CFTeプログラムは協会にとって非常に重要であり、協会では積極的に普及に努めています。

SIAT(イタリア)

イタリア・テクニカルアナリスト協会

マウリッツィオ・ミラノ氏より、SIATではここ数年、組織内部にあった多数の難題に取り組んできて、ようやく会員へのサービス提供に集中できるようになってきたとの報告がありました。ウェブサイトが新しくなり、良好に機能しています。協会ではイタリアにある複数の大学との関係強化に取り組んでいます。現在の会員数は167名。

JTAS(ヨルダン)

ヨルダン・テクニカル分析協会

シェリー・アルサイエド氏より、JTASの会員が2006年のわずか2名から2008年には400名に増えたとの報告がありました。来年は、少なくとも1名の講師を招聘してエキシビジョンを行う計画です。会員のほとんどがヨルダン外からの加入者とのこと。協会では現在、会員がCFTeを受験できるように、資料をまとめることを検討しています。JTASでは年4回雑誌を刊行し、ヨルダンの全銀行と証券取引所に配布しています。協会の会議は3か月ごとに行われます。

IFTA 会員協会ニュース(続き)

NTAA(日本)

日本テクニカルアナリスト協会

羽田重年氏より、NTAAには9月現在2,374名の会員があり、過去4年間で1,300名増えたとの報告がありました。MFTA合格者が52名、CFTE合格者が542名、NTAAのCMTA合格者が1,691名います。2008年6月28日に30周年の祝会を行いました。協会では最近、ジョン・ブルークス氏の“Mastering Technical Analysis”を邦訳(『ブルークス流テクニカル運用戦略』)を出版しました。

DCTA(オランダ)

オランダ・テクニカル分析協会

ジュリアス・ド・ケンペナールより、DCTAは証券アナリスト協会内の一委員会として活動しているとの報告がありました。委員会は非常に小規模で、メンバー全員がプロです。

AATROM(ルーマニア)

ルーマニア・テクニカルアナリスト協会

ダン・ヴァルク氏より、AATROMの会員数は現在99名で、内17名が女性であるとの報告がありました。協会では大衆向けのテクニカル分析の要求に応えている一方で、ブローカーやファンドマネージャの会員数を増やしたいと願っています。AATROMには月刊のニューズレターがあります。2007年10月に国内会議を開催したほか、今年の5月にも会議を主催しています。AATROMは完全にボランティアだけで運営されています。

ダン・ヴァルク氏は、新興協会を対象とする個別指導(mentor)プログラムの実施をIFTAに提案しています。AATROMの会員9名が本日CFTEIを受験しており、試験がルーマニア語に翻訳される可能性に大いに期待しています。JTASのシェリー・アルサイエド氏は、新協会のためのガイドブックが必要かもしれないとの見解に同意しました。

会員の皆様への会長レポート(続き)

ウェスティン シカゴ リバー ノース ホテルのウェブサイトは下記のとおりです。www.starwoodhotels.com/westin/property/overview/index.html IFTA 理事会は次期会長としてアダム・ソラブを指名致しました。就任は2010年1月となります。IFTA はここ数年で大きく成長し、それに伴い、ボランティアの理事会に対する要望も増えてまいりました。そうした中で、次期会長として適任者が与えられたことは幸いでした。アダム・ソラブは専門分野においても国際的な TA コミュニティーにおいても経験豊富なリーダーです。英国 TA 協会会長としての長年の経験、行動力、情熱、明確なビジョンを持って、会長として IFTA 会員協会のために尽くしてくれます。アダム・ソラブは今年、IFTA の執行委員会と密接に協力して、理事会と全会員協会のために業務が円滑に移行できるよう努めます。

昨年一年間、多くの課題に共に取り組むなかでご支援、ご指導くださった IFTA 理事会、各協会の渉外担当者、その他の IFTA 関係者の皆様に感謝申し上げます。共通の使命への取り組みにおいて IFTA が会員協会のお役に立つ働きを成功裏に勤めることができたのは、ひとえに皆様のご協力のおかげです。この一年が良い年となりますよう、皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

IFTA 会長
イレーン・クヌース

第 22 回 IFTA 年次会議
2009 年 10 月 7 ~ 10 日
AAPTA 主催
ウェスティン シカゴ リバー ノース



国際検定テクニカルアナリスト(MFTA)プログラム

IFTAの国際検定テクニカルアナリスト(MFTA)の資格を取得するには、大学スタイルの研究論文を執筆する必要があります。これは、国際的な舞台で活動するための専門性を厳しく審査するためのものです。論文の提出時期は、5月初旬と10月初旬の2回です。

前提条件

IFTA加盟協会の会員であれば、CFT(Certified Financial Technician)または同等の資格(現在のところ、NTAAのCMTAとAATAのDip.TA)保有者はだれでもMFTAを受験できます。願書が届くとすぐに、以降の手続きを進める前に、受験者の地元協会に対し、受験者がその協会から適正に認定された、会費支払い済みの会員または準会員であることの確認が求められます。

上記の正式な資格は持たないものの、テクニカルアナリストとしての他の資格や長年の経験を有するIFTA個人会員のために、認定委員会では「1・2次試験免除」の制度を設けました。学問または実務の面でテクニカル分析に深くかかわってきた実績を持つ者には、CFTe保有者でなくとも受験を認めるという制度です。

一般に、「1・2次試験免除」には次の3種類の枠があります。

- CMT または STA ディプロマなど、CFTe以外のTAの資格を持ち、かつ、テクニシャンとして3年の経験を有すること。
- CFA、CPA、MBAなど、CFTe以外の金融関係の資格を持ち、かつ、テクニシャンとして5年の経験を有すること。
- 経験のみ(8年以上)。

上記またはこれに非常に近い要件を満たす者は、事前資格審査である1・2次試験を受けずにMFTAの受験出願ができます。「1・2次試験免除」の出願が認められると、MFTAコースに登録し、論文の概要を提出できます。

次回のMFTAの締切日

「1・2次試験免除」出願の締め切り.....	2009年2月28日
出願、概要、受験料の支払いの締め切り.....	2009年5月2日
論文提出締め切り.....	2009年10月15日
受験料.....	900米ドル

出願の申込票は <http://www.ifta.org/certifications> からダウンロードできます。

MFTAプログラムの詳細については、www.ifta.org/certifications/mfta/ をご覧ください。ご質問はadmin@ifta.org で受け付けております。

祝 CFTeの新合格者

アーメド・アブデル・モネイム (ESTA)
 モハベルディーン・モハメドタラト・アブデル
 ハメド・アジェナ (ESTA)
 サメフ・アーメド・ハッサン・アブディン
 (ESTA)
 アイマン・モウサ・アル・サタリ (CSTA)
 ワリード・アリ・カリリ (ESTA)
 タレク・M・レファート・フセイン・ユースフ・
 アリ (ESTA)
 デニス・M・アキノ (TASS)
 モハマド・モハマド・アテフ・アーマド
 (ESTA)
 ワエル・ハッサン・ハメド・アッタ (ESTA)
 キリート・ブテイル (STA)
 アレジャンドロ・デル・カント・パルンボ
 (AEAT)
 アブデル・ラーマン・エルサハリ (ESTA)
 ファレス・エミール・ハダド (JTAS)
 アドリエン・カーダル (STA)
 ロー・ヨン・ケン (TASS)
 アロク・G・カダルー (TASSA)
 クリストファー・クラウス (VTAD)
 ヘンドラ・クスモ (ATAA)
 ジェームズ・レ (ATAA)
 ヴィンセント・マー (ATAA)
 グレン・マルチ (VTAD)
 クリス・フレデリック・ミーキン (ATAA)
 マーク・ミュラー (VTAD)
 ヴィクトル・セシル・ネヴィル (ATAA)
 オマー・スレイマン・ニマー (ESTA)
 ジェームズ・マーシャル・ページ (ATAA)
 リース・アレジャンドロ・ピナ・グリフィス
 (STA)
 オラフ・ビスケ (VTAD)
 エドワード・ブライアン・ラウゾン (STA)
 バッサム・サンドウカ (JTAS)
 ステファーン・セルヴェル (AFATE)
 ホ・ウィン・シン (TASS)
 アーメド・スウィダン (ESTA)
 マラト・ウマンスキー (ATAA)
 パオロ・M.F.D・ビジェガス (TSAASF)
 マルカス・ウォルニー (VTAD)
 ニハル・モハマド・ザキ (ESTA)

検定テクニカルアナリスト

(CFTe) プログラム

IFTA (CFTe) プログラムには2つのレベル(IとII)が用意されており、試験は毎年春(4月)と秋(11月)に実施されています。

2009年4月22日に行われる試験の登録は、<http://www.ifta.org/login.aspx>で受け付けています。

試験

どちらのレベルも、合格するとテクニカル分析の国際専門資格が与えられます。試験では、テクニカル分析の技術的な知識だけでなく、倫理や市場の知識もテストされます。

レベルI: この試験は多肢選択式問題120問で構成されており、テクニカル分析の幅広い範囲の知識が試されますが、通常、実際的な経験は試験対象に含まれていません。過去問題は公表されませんが、出願者には少数のサンプル問題が試験要目と必読書一覧とともに送付されます。

レベルII: さまざまなテクニカル分析の知識と経験を見るために、小論文の問題が複数出題されます。また、ある特定の市場(株式市場が多い)を対象とした複数のチャートが与えられ、ファンドマネージャにアドバイスするつもりで分析を行うことが求められます。試験要目と必読書一覧、それに過去問題は、申込書と受験料の受領後に提供されます。

前提条件

受講・受験資格は、IFTA会員協会または新興協会に属して会費を納めている会員に限られます。IFTA傘下のTA協会が国内にない場合でも、下記のいずれかの条件を満たせば受講・受験できます。

- 別の国にある既存の協会に加入する。ほとんどの協会が、国外在住者の加入を認めています。IFTA協会の一覧は、www.ifta.org/membershipにアクセスし、Member Societies(会員協会)またはDeveloping Societies(新興協会)を参照してください。
- 同じ志を持つ人々と連携し、国内にTA協会を創設して新興協会としての地位を得るべくIFTAに申請している。

次回のCFTeの締切日

CFTe レベルIとレベルII(筆記試験)

試験日.....2009年4月22日

登録開始.....2009年1月

願書と受験料の締め切り.....2009年3月23日(例外は認められません)

受験料.....500米ドル(レベルI); 800米ドル(レベルII)

要目、必読書一覧、オンライン登録については、IFTAのウェブサイト

www.ifta.org/certifications/application/ をご覧ください。受験者の方は、「よくある質問」(www.ifta.org/certifications/faq/)をご覧ください。また、プログラムの詳細と試験の前提条件については、CFTeのウェブページ

www.ifta.org/certifications/financial/ をご覧ください。

2009年 理事会

IFTA 会員協会

アルゼンチン(AAAT)	ww.aaat.org.ar
オーストラリア(ATAA)	www.ataa.com.au
カナダ(CSTA)	www.csta.org
チェコ(CNATA)*	www.cnata.cz
東アフリカ(EATAS)*	
エジプト(ESTA)	www.estaegypt.org
フランス(AFATE)	www.afate.com
ドイツ(VTAD)	www.vtad.de
インドネシア(AATI)	
イタリア(SIAT)	www.siat.org
日本(NTAA)	www.ntaa.org.jp
ヨルダン(JTAS)	www.jtas-jordan.com
クウェート(KTAA)*	www.kwtaa.org
オランダ(DCTA)	
ニュージーランド(STANZ)	www.stanz.co.nz
パキスタン(ATAP)*	
ルーマニア(AATROM)*	ww.aatrom.org
ロシア(RSTA)	www.mfd.msk.ru/ota
サウジアラビア(SSTA)*	www.saudi-sta.org
北欧(STAF)	www.staf.nu
シンガポール(TASS)	www.tass.org.sg
南アフリカ(TASSA)*	www.tassa.org.za
スペイン(AEAT)	www.aeatonline.com
スイス(SAMT)	www.samt-org.ch
英国(STA)	www.sta-uk.org
米国(TSAASF)	www.tsaasf.org
(米国テクニカル証券アナリスト協会)	
米国(AAPTA)	www.aapta-us.org
(米国プロフェッショナル・テクニカルアナリスト協会)	

* 新興協会

執行委員会

委員長

エレイン・クヌース(SAMT)
Eメール: elknuh@gmail.com

副委員長 - アメリカ大陸
ヘンリー・ブルーデン(TSAASF)
Eメール: hpruden@ggu.edu

副委員長 - ヨーロッパ
アクセル・ルドルフ(STA)
Eメール: axel.rudolph@dowjones.com

副委員長 - アジア
羽田重年(NTAA)
Eメール: shaneda1@nifty.com

副委員長 - 中東、アフリカ
アイマン・ウェイクト(ESTA)
Eメール: aymanwaked@yahoo.com.sg

財務担当理事
ピーター・ポンティキス(ATAA)
Eメール: Peter.Pontikis@suncorp.com.au

書記
ブルーノ・エスティア、MFTA(SAMT)
Eメール: bruno.estier@dplanet.ch

中核業務委員会

学術連絡委員会委員長
ヘンリー・ブルーデン(TSAASF)
Eメール: hpruden@ggu.edu

認定委員会委員長
ラリー・ロヴレンキック(ATAA)
Eメール: lvl@firstpacific.net

教育 / 知識体系委員会委員長
クロード・マターンMFTA(AFATE)
Eメール: claude.mattern@bnpparibas.com

倫理委員会委員長
ティモシー・ブラッドリー(TSAASF)
Eメール: timb@dynamictradingmgt.com

情報管理委員会委員長
ベロニク・ラシンスキー、CMT(AAPTA)
Eメール: veronique.lashinski@newedgroup.com

会報委員会委員長
レジャイナ・ミーニ、CTFe(STA, ATAA)
Eメール: rjcmearni@idx.com.au

監理委員会

会議諮問委員会委員長
ティモシー・ブラッドリー(TSAASF)
Eメール: timb@dynamictradingmgt.com

IFTA会議(2008年)実行委員長
ジュリアン・ネベンツァール、CFTe(AFATE)
Eメール: nebenzahl@daybyday-pro.com

財務委員会委員長
サイモン・ウォレン、MSTA(STA)
Eメール: warrens@bupa.com

加盟・新規開拓委員会委員長
アレックス・ダグラス(TASS)
Eメール: alex@alexdouglas.com

無任所の理事

グレゴール・パウアー(VTAD)
Eメール: gregor.bauer@t-online.de
ジェラルド・ビュトリモビッツ(TSAASF)
Eメール: tsaagb@ix.netcom.com
ジュリアス・ド・ケンペナール(DCTA)
Eメール: jkem@kempen.nl
マーク・ミシェル(AEAT)
Eメール: mmichiels@ets.es
マウリツィオ・ミラーノ(SIAT)
Eメール: Maurizio.milano@sella.it
サーレ・ナッサー、CMT(ESTA)
Eメール: snaser@link.net
大瀧太市(NTAA)
Eメール: office@ntaa.gr.jp
岡本博、MFTA(NTAA)
Eメール: okamoto3genki@horae.dti.ne.jp
アントネッラ・サバティエリ(SIAT)
Eメール: as@alum.mit.edu
ウルフ・サンドバーク(VTAD)
Eメール: Ulf.Sandberg@dzbank.de
ビル・シャープ(前理事長)(CSTA)
Eメール: bsharp@valern.com
アダム・ソラブ(STA)
Eメール: Adam.Sorab@cqsm.com
マックス・フォン・リヒテンシュタイン(STAF)
Eメール: Liechtenstein@tele2.se
ワン・タオ(TASS)
Eメール: tasstao@yahoo.com.sg

IFTA 本部

国際テクニカルアナリスト連盟
9707 Key West Avenue, Suite 100
Rockville, MD 20850 USA

電話 +1 240-404-6508
FAX: +1 301-990-9771
Eメール: admin@ifta.org

IFTA UPDATE 2009年 料金表

『IFTA UPDATE』は国際テクニカルアナリスト連盟が年4回刊行する電子版のニュースレターで、世界中の7,000人以上のIFTA会員に配布されています。『IFTA UPDATE』は、IFTAの会員協会や個人会員とのコミュニケーションを図るのに効率的で費用効果に優れた手段です。

刊行予定

春号	(広告提出締め切り 2009年3月1日)
夏号	(広告提出締め切り 2009年6月1日)
秋号	(広告提出締め切り 2009年9月1日)
冬号	(広告提出締め切り 2009年12月1日)

広告の規格

『IFTA UPDATE』は、PDF形式にてEメールで配信されます。ページサイズは21.6cm × 28cmです。広告はJPEG、TIFF、EPSまたはPDFファイルの形式で300dpiの解像度の原稿をお送りください。

広告の大きさ	全ページ広告(裁ち切り有り)	21.6cm × 28cm
	全ページ広告(裁ち切り無し)	19.05 cm × 25.4 cm
	半ページ広告	12.7 cm × 19.05 cm
	1/3 ページ広告(正方形)	12.7 cm × 12.7 cm
	1/3 ページ広告(縦型)	25.4 cm × 6.35 cm
掲載 1 回分の費用	全ページ広告	400 米ドル
	半ページ広告	250 米ドル
	1/3 ページ広告	185 米ドル

発行者の免責

発行者は、出版物の基準に沿わない広告については、却下する権利を留保します。また、読者が論説の内容と混同するおそれがあると思われる場合、発行者は「広告」と明記する権利を留保します。

お支払い情報

広告の大きさ	金額	号
全ページ(裁ち切り有り)	(掲載 1 回あたり 400 米ドル)	2008 年春
全ページ(裁ち切り無し)	(掲載 1 回あたり 400 米ドル)	2008 年夏
半ページ	(掲載 1 回あたり 250 米ドル)	2008 年秋
1/3 ページ(正方形)	(掲載 1 回あたり 185 米ドル)	2008 年冬
1/3 ページ(縦型)	(掲載 1 回あたり 185 米ドル)	
合計金額 _____ (米ドル)		

御名前 _____ 会社名 _____
 クレジットカード: Visa MasterCard 小切手
 クレジットカード番号 _____ 有効期限 _____
 署名 _____

この書式にお支払い金を添えて下記の宛先までお送りください。

International Federation of Technical Analysts

15245 Shady Grove Road, Suite 130

Rockville, MD 20850 USA

Fax (301) 990-9771

投稿のお願い

2010年度 IFTA ジャーナル

IFTAジャーナルは、国際テクニカルアナリスト連盟が発刊した優れた年刊物です。IFTA会員から成る委員会が編集しています。IFTAジャーナルは、あらゆる領域で活躍するテクニカル分析の実務家、学者、学習者にとって必須の読み物です。テクニカル分析に関心を持つすべての人にとって、豊かな内容を持つ優れた情報源です。

信頼と認知

IFTAジャーナルは、グローバルな市場のテクニカル分析の発展を題材として扱う唯一のテクニカル分析の国際誌であり、すべての大陸からオリジナルの原稿が寄せられています。本誌は、世界中の一線級の実務家や研究者が手にします。

書籍の形式に製本されるIFTAジャーナルは、メジャーな専門資料です。本誌がIFTAのウェブサイトでもオンライン出版されると、お寄せいただいたオリジナル原稿が、将来の情報資源としてテクニカルアナリストのグローバル・コミュニティに届くことになります。2009 / 10年度版は10,000部が出版され、全世界に配布されます。

トピック

IFTAでは、テクニカル分析の分野に直接または間接的に影響を与える出来事を紹介する原稿を募集しています。例えば、次のような分野が対象です。

- 基本的な市場分析手法
- 指標 センチメント、出来高分析、モメンタム、その他
- グローバルおよびイントラグローバルなTA
- TAのスタイル
- データ
- 投資コミュニティにおける TA の役割の変化

特に、以前に検討された例のない分野を対象とする寄稿、またはテクニカル分析に付随するトピックを希望しています。

上記のリストは指針に過ぎず、決してこれらに限定されません。TAのあらゆる領域およびそれと関連分野から、新しく画期的なアイデアを取り込むことのできるジャーナルにしたいと願っております。

寄稿の方法

登録および寄稿はwww.ifta.orgから、または編集者のレジャイナ・ミーニ (Regina Meani- rjcmearni@idx.com.au)までEメールでお願いします。

言語

原稿は必ず英語(イギリス文法)でお願いします。

文体

論文スタイルでお願いします。下記のリンクを参考にしてください。

<http://www.cse.unsw.edu.au/~gernot/style-guide.html>

参照先

原稿で言及する文献はすべて、文献目録と後注で出典先を適切に示してください。脚注は不可です。下記の指針に従ってください。

http://www.usq.edu.au/library/help/ehelp/ref_guides/oxford.htm

<http://w2.vu.edu.au/LIBRARY/infolink/webref/styles/files/oxford.pdf>

参照文献と引用の正確を期することは、著者の責任です。参照文献と引用については、提出前に著者が十分にチェックしてください。

参照文献はすべて後注としてください。

参考文献または文献目録を別途のリストとして提出しないでください。

図、チャート、表

イラストとチャートには、通し番号 (Figure xx) を付け、出典(引用の場合)を記してください。表には表番号 (Table xx) を付け、出典を記してください。

原稿の長さ

原稿は約1200 ~ 3000ワードの本文に裏付けとなるグラフやチャートを添えてください。

形式

MSワードまたはその他のテキスト形式でお願いします。PDF形式は不可です。チャートとグラフは .gif または .jpeg 形式でも構いませんが、印刷用として必要となる場合が考えられますので、.tif 形式でも保存しておかれるようにお願いします。原稿を裏付けるためにExcelのスプレッドシートを添えていただいても結構です。

ライセンスと著作権

原稿の著者は必ず、本書の末尾にある『出版契約』に署名してください(『出版契約』を参照)。

ウェブサイトで出版する場合もあります。その場合は、原稿を

Creative Commons Attribution - NonCommercial 3.0

(<http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/>)

にアップしていただく必要があります。

別のライセンスが記されていない限り、原稿はこのライセンスに基づいているものと想定させていただきます。

投稿のお願い

2010年度版 IFTA ジャーナル

編集スケジュール

1月30日	「論文募集」を配布
5月29日	すべての原稿の締切
5月29日	校閲のために配布
7月31日	校閲者からのコメントが編集者に
8月14日	採否の通知
8月28日	印刷原稿の提出
2009年10月	印刷版の出版、世界中に配布
2010年4月	ウェブ出版

出版契約

以下は、著者（および共著者）

が執筆した原稿

について、著者（および共著者）と国際テクニカルアナリスト連盟の間で締結される契約である。

著者の権利付与

著者（および共著者）は出版者に当該著作の排他的最優先出版権を付与し、また、その他の方法で、著作権が有効な期間、あらゆる媒体を使用して、あらゆる言語で、世界中で当該著作を使用する非排他的ライセンスを付与する。

出版者は当該原稿を IFTA ジャーナル に発表することに同意する。

出版者は原稿に、「著作権は [著者（および共著者）の 名前] に帰属します」との表記を含めるものとする。原稿の読者は、著作権所有者の許可を得ずに複製を作成することができる。ただし、複製に著者と出版者の名前が明記され、複製が非営利の教育目的に使用される場合に限る。

原稿の選定

原稿は、内容に基づいて IFTA ジャーナル の編集委員会が選定します。すべての原稿を採用することはできませんので、あらかじめご了承ください。原稿の数と質、および編集者の裁定によっては、選定結果を交渉によって変更できない場合がございます。

報酬

国際テクニカルアナリスト連盟はボランティアによって組織され、運営され、会員協会によって支えられています。原稿料をお支払いすることはできません。どうかご理解賜りますようお願い申し上げます。

質問

詳細については、journal@ifta.org までお問い合わせください。

著者（および共著者）に帰属する著作権の所有権

原稿の著作権は、引き続き著者（および共著者）に帰属する。

原作者の保証

著者（および共著者）は出版者に対し、原稿がオリジナルであり、自身が単独の著者（および共著者）であり、本契約を結ぶ全権を有することを保証する。著者（および共著者）は、当該保証の一切に関して、一切の申し立てまたは訴訟の最終判決後に、出版者に対し、損失およびその他の経費のすべてを補償する。かかる経費には、妥当な弁護士費用が含まれる。

著者（および共著者）名

著者（および共著者）署名

日付

[承諾いただけましたら、『出版契約』の必要事項をすべてご記入の上、FAX または Eメールにて下記までご送信ください。 IFTA Headquarters, (fax) +1 301-990-9771 or (email) admin@ifta.org]

IFTA JOURNAL 2010年 料金表

編集および読者層のプロフィール

年に一度刊行されるIFTAジャーナルには、金融および商品市場のテクニカル分析に関連する広範囲にわたるトピックをカバーする論文や記事が掲載されます。内容は十分な裏付けを持つ独創的なものばかりです。ジャーナルは、IFTA会員や関係者にテクニカル分析の継続教育を提供することを目的としています。幅広い内容の論説は、テクニカル分析の最新情報や優れた研究を絶えず仕入れておくために役立ちます。

IFTAジャーナルは、世界の金融界で働く専門家やTAに関心を持つ人々を対象に刊行されているTAの国際誌としては唯一のものです。購読者は、世界の金融界で働くアナリスト、ファンドマネージャ、フィナンシャルライター、その他の意思決定者です。

IFTAジャーナルは、毎年行われるIFTA国際会議で7000人以上の各国代表団と会員に配布されている主要な印刷物です。IFTA ジャーナルは、選ばれたミーティングやセミナーで紹介・配布され、お客様のメッセージをしっかりと広め、認知度を高めます。

発行部数と読者層

総発行部数	10,000 部(約 7000 部が会費による)
配信範囲	全世界
対象読者層	法人所属のアナリスト、アカウントマネージャ、ファンドマネージャ、投資家、学生
刊行予定	2008 年秋

編集委員会とスタッフ

編集長	レジャイナ・ミーニ
編集者	ロベルト・バルガス
編集者	ロルフ・ヴェッツァー
スタッフ	リンダ・バーネティック

所属組織

国際テクニカルアナリスト連盟 (IFTA)
15245 Shady Grove Road, Suite 130
Rockville, MD 20850 USA
電話 +1 (240) 404-6508
Eメール Journal@ifta.org

広告料(価格は米ドル)

全ページ	\$ 1,200.00
2/3 ページ	\$1,056.00
1/2 ページ	\$823.00
1/3 ページ	\$545.00
1/4 ページ	\$300.00

指定位置料金

裏表紙(表 4)	\$1,800.00
インサイドバック(表 3)	\$1,500.00
インサイドフロント(表 2)	\$1,300.00

2009 年号の投稿締切日

2008年8月15日に延期

主な規格

全ページ広告の判型=215x280mm (8.5x11インチ) 解像度300dpiのJPEG、Tiff、EPS、またはPDFファイルで受け付け可能です。

印刷

完全製本のジャーナル/書籍形式、215 x280mm(8.5x11インチ)、80#グロスウェイト。表紙には湿式コーティング(クリアウォーターベースのコーティング。艶仕上げによって保護が強化され、ジャーナルも印刷される広告も見栄えがよくなります。)

その他

IFTAジャーナルの広告における原則

IFTA編集委員会が合同で策定したこの原則は、最高の広告倫理基準を確実に守るために、また、IFTAの印刷と電子出版に掲載する広告の製品とサービスの適格性を判断するために、国際テク

ニカルアナリスト連盟(IFTA)が適用するものです。

方針としてIFTAは、広告掲載がIFTAの使命または目的の妨害にならない場合に、自身の出版物内の広告スペースを販売します。

IFTAの出版物における広告の体裁は、IFTAが保証するものでも承認するものでもありません。

広告承認の方針

広告の原稿はすべて書面で提出し、IFTAの承認を受ける必要があります。差別的な広告は掲載できません。また、すべての適用法令に準拠する必要があります。IFTAは自身の裁量で広告の謝絶、回収、複写 / 編集を行う権利を留保します。間違いを避けるために細心の注意を払いますが、事務上の手違いや印刷業者の間違いについては責任を負いません。

お支払い

お支払いは必ず、小切手、クレジットカード(Visa、MasterCard)または電信送金をお願いします。銀行口座の情報は、要請に応じてお知らせします。

解約と変更

ご注文を確認する受け取り通知をお送りします。お申し込みの広告と日程が正しいことをご確認いただく必要があります。変更、キャンセル、または訂正については、提出締切日より前に、書面で、FAX、電子メール、または郵便にてIFTAにお知らせください。

ご注文、資料、お支払い

ご注文、資料、お支払い、お問い合わせ / ご連絡は、上記のIFTAの連絡先をお願いいたします。